

ぐんまハイスクール・ネットワーク構想

別添資料 5

<ネットワーク構成校>

長野原高校・孺恋高校・渋川高校・尾瀬高校・吾妻中央高校

1. 「教科・科目充実型」の遠隔授業など

ICTも活用した連携・協働の取組

- 「教科・科目充実型」の遠隔授業の実施により、生徒の進路希望に応じた多様な教科・科目の開設や指導の充実を図る。
- 教育課程の共通化による単位認定までを含めた、通年による遠隔授業を実施する。
- 「情報Ⅰ」の遠隔授業の成果及び課題を整理することで、展開の可能性を探る。
- 配信センター方式の遠隔授業実施について、課題等を整理した上で検討を行う。

2. 学校間連携を行うための運営体制に関する取組

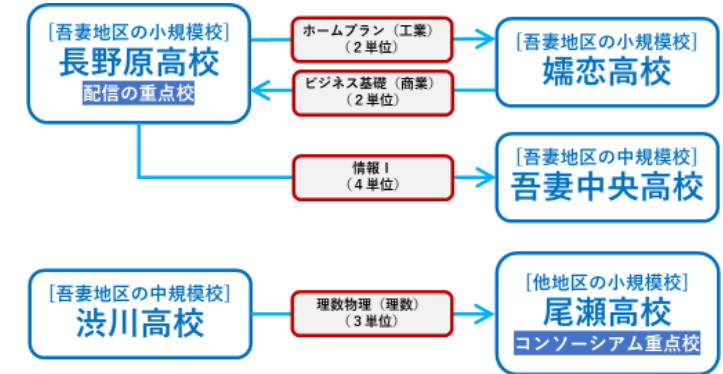
- 学校間の連携を円滑に行うため、実践推進委員会等を組織し、事業計画の検討や取組の評価を行う。
- 管理職のリーダーシップの下、職員研修により教職員の指導力を高めるとともに、校内組織の見直しを図る。
- 全国に先駆けて整備した1人1台パソコンを効果的に活用し学びの質の向上を図る。
- デジタルツールを生かすことで、探究的な学びや体験的な学びの充実など、「群馬ならではの学び」(群馬の環境を生かし、感性を磨きながら、デジタルで社会とつながることができる学び)を推進する。

3. コンソーシアムを構築し、

学校外の教育資源を活用した教育の高度化・多様化に関する取組

- 子どもや地域のニーズを捉えた特色ある学校づくりを推進するとともに、地域社会に根ざした学校間の連携・協働ネットワークを構築する。
- コンソーシアムの構築を通し、複数学科を設置する学校における、学科の枠組みを越えた地域協働の取り組みの在り方について検証を行う。
- ネットワークを構成する小規模校について、地域関係者等との間で協議会を開催し、学校の現状の適切な理解を促すと共に、今後の学校の在り方に関する検討を行う。

<実施体制（令和5年度）>



4. 成果等及び今後（令和5年度）

<遠隔授業>

- ・情報Ⅰの遠隔授業で、大人数の受講生徒のいる遠隔授業の実施に関する知見が得られた。
- ・配信センター化を進める上で必要な課題を整理することができた。

[今後] 再編整備計画を進める中で、遠隔授業の取扱いも含め、在り方を検討。

<コンソーシアム>

- ・複数学科を有する高校における、学科を越えた地域協働の取組に着手することができた。
- ・協議会を通し小規模校の所在する地域関係者等と学校の現状を共有し、学校の在り方について検討を進めることができた。

[今後] 学校や地域の実態に応じ、構築したコンソーシアムの活動の一層の充実・発展を図る。